

東京計器那須工場の敷地内に新しい実流量試験設備が完成し、この11月16日に竣工式が執り行われました。この実流量試験設備は、安定した流速分布を得るための高さ25mの高架水槽、口径50mmから600mmまでを取り揃えた10本のパイプライン、そして、国内唯一となる角形、円形の2つの開水路実流量試験ラインを備えた日本最大級の試験設備です。特に開水路実流量試験ラインは、農業用水や下水道など自由水面をもつ開渠用流量計の高精度化に向けて欠かすことのできない試験設備であり、国立研究開発法人 産業技術総合研究所からも新しい計量標準の開拓に役立つ施設として注目されています。

東京計器は、この実流量試験設備を活用して多様化と高度化が進む流量計測のニーズにお応えできる製品の開発に取り組んでまいります。また、今後はお客様の流量計を校正するサービス業務にもお役立ていただけるよう、2017年秋をめざしてJCSS*の認定取得を進めてまいります。JCSSの認定取得を通じて、より信頼性の高い校正サービスのご提供にも貢献してまいりますので、どうぞご期待ください。

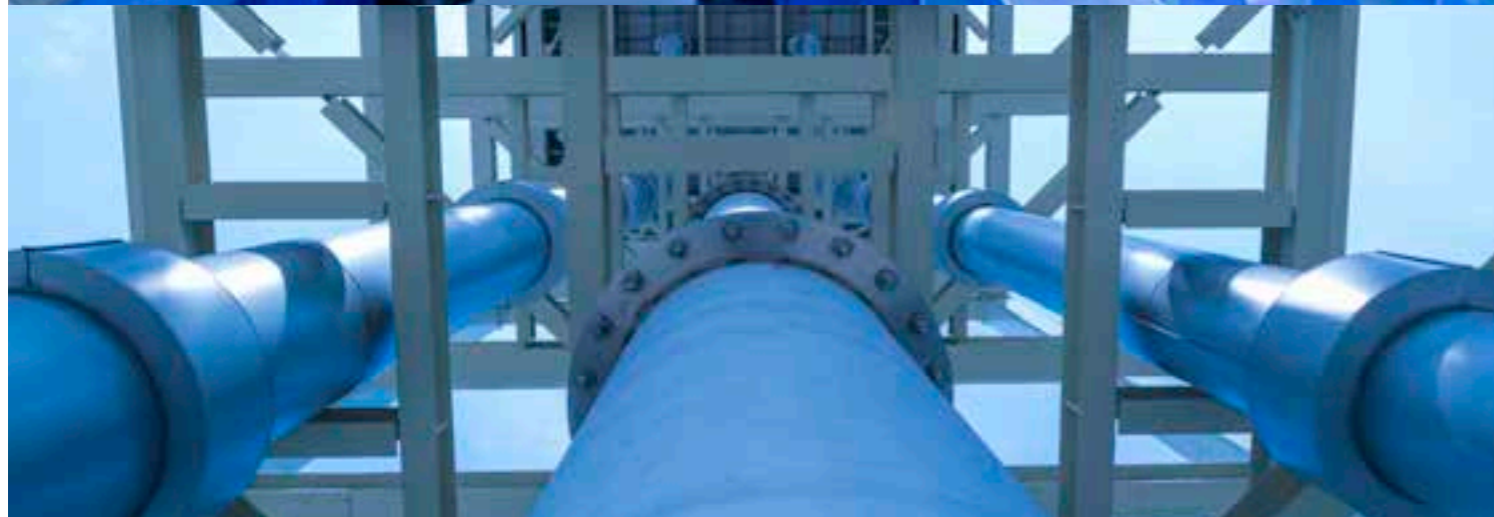


*JCSS (Japan Calibration Service System: 計量法校正事業者登録制度)

計量法に基づく計量のトレーサビリティ確保のために設立された制度。計量器を校正する事業所の技術能力やトレーサビリティが校正機関認定の国際規格の基準を満たしていることを、認定機関である独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターが審査・認定する仕組み。JCSSを取得した校正事業者は、その校正結果が国家計量標準へと繋がっていることを公的に証明した「JCSS標準付校正証明書」を発行できる。



日本で唯一の開水路実流量試験ライン。農業用水や下水道などに対応した角形、円形の水路を装備し、開渠用流量計の高精度試験が可能です。



多様な流量計測ニーズにお応えできる50mmから600mmまでの試験配管を装備しています。

